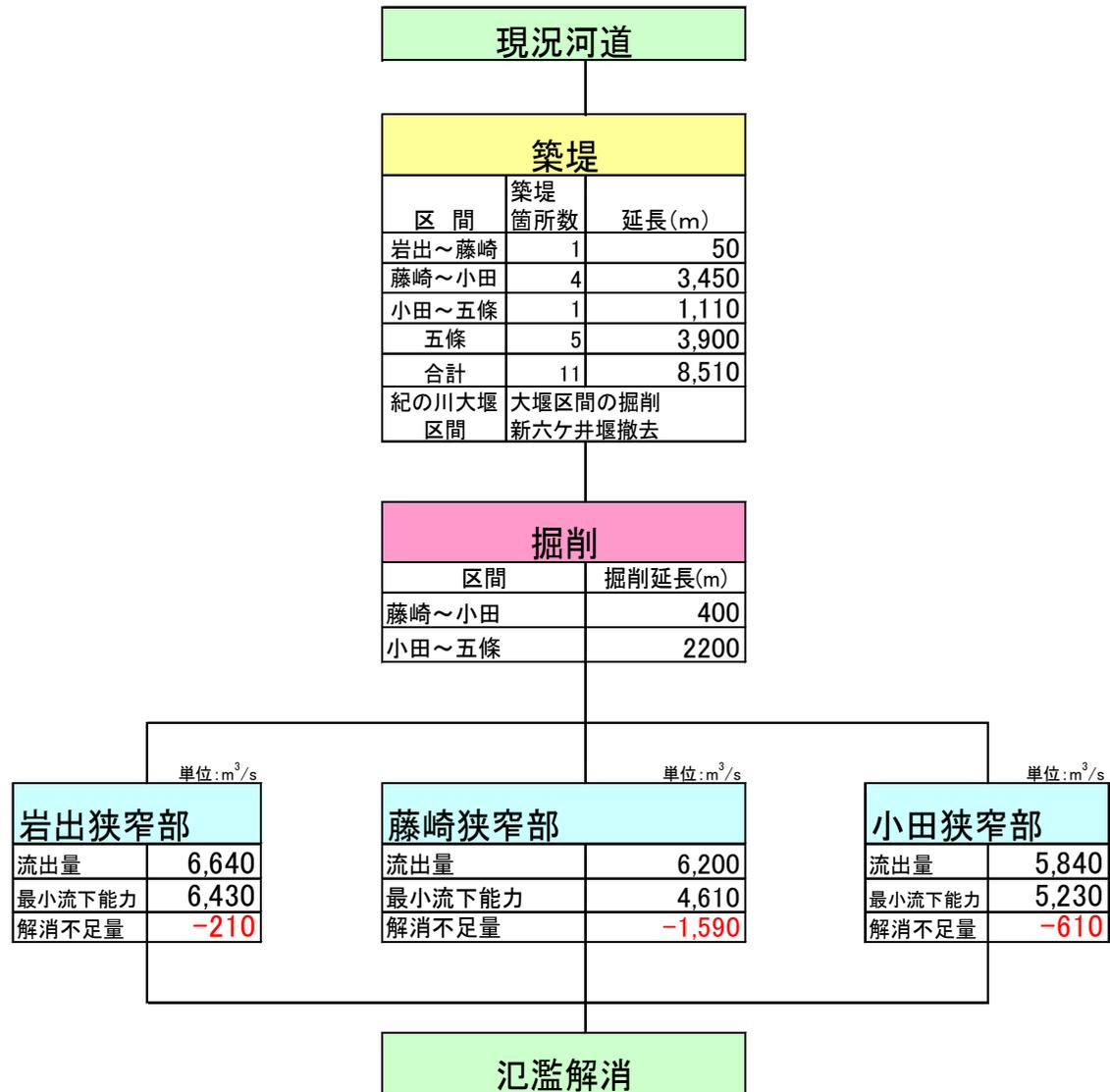


2. 各洪水規模における量、 課題等の抽出

2-1 昭和34年9月型洪水 (伊勢湾 × 1.0)

昭和34年9月型洪水(伊勢湾 × 1.0)

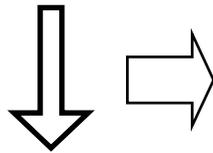


昭和34年9月型洪水(伊勢湾 × 1.0)

(整備による効果)

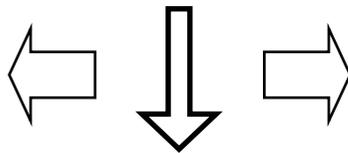
(課題)

現況河道



- ▼全川で7.44km²の氾濫
(29ブロックの内12ブロックで氾濫)
- ▼床上:2,260世帯、床下:550世帯
(橋本右岸上流、橋本右岸中流第一ブロックで被害大)

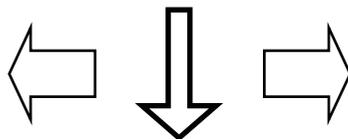
築堤 (11地区 8,510m)



- 築堤により上流部(五條地区)の氾濫解消
- 氾濫12ブロックが10ブロックに減少
- 床上:1,500世帯、床下:1,510世帯
(床上:760世帯減、床下:960世帯増)

- ▼全川で10.50km²の氾濫(3.06km²の増)
- ▼下流への流出量増により氾濫面積増大
- ▼下流への流出量増大により、新たな氾濫ブロック発生(4ブロック)
- ▼五條右岸中流ブロック、九度山、慈尊院ブロックで1km以上の築堤

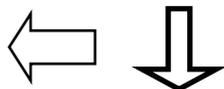
掘削 (2,600m)



- 全川で8.97km²の氾濫(1.57km²の減)
- 氾濫10ブロックが7ブロックに減少
- 床上:1,200世帯、床下:1,300世帯
(床上:300世帯減、床下:210世帯減)

- ▼狭窄部での氾濫残
- ▼岩出井堰、藤崎井堰、小田井堰の対策必要

狭窄部対策 (3箇所)



- 氾濫解消

氾濫被害解消

※築堤、掘削延長:概算値